

描かれた当時に思いを馳せる 「中尾神社の天井絵」展

1/4 [Sat] ~ 3/8 [Sun]



▲天井絵の1つ
「鶴一羽」



▲天井絵が並ぶ郷土資料館

多久市郷土資料館40周年記念のプレ企画展として、「中尾神社の天井絵」展を同資料館で行いました。明治期に描かれたものと推定される天井絵、全200枚のうち199枚が現存。その中から鮮明に絵柄が分かる現物や写真72枚を選んで展示しました。

期間中は、例年よりも多い600人以上が来館し、訪れた人は、中尾神社に奉納された動植物や中国文化に由来した霊獣など、多彩な天井絵を観覧していました。

「記録にはありませんが、じっくり絵を見るとどのような思いで描かれ、奉納されたのかを想像できます」と藤井伸幸館長。

4月からも3つの40周年記念企画展を予定しています。

9年間の思い出を胸に 義務教育学校 卒業証書授与式

3/9 [Mon]

市内の義務教育学校3校で卒業証書授与式が行われ、9年生151人が学び舎を後にしました。

今年は、新型コロナウイルス感染防止対策措置で、出席者が限られる中、東原彦舎東部校では、中西順也校長から40人の生徒一人ひとりに卒業証書が手渡されました。参加できなかった在校生が卒業生のために録音した歌声が流れると、卒業生の中には、9年間の想いが溢れていました。

卒業生代表の松瀬燦子さんは、「登校できる日数が減って寂しい気持ちもありましたが、在校生のみなさんや先生が一生懸命工夫して卒業式を準備してくださり、ありがたい気持ちでいっぱいです。この東部校で学んだ絆を胸に、どんなことにも立ち向かっていきたいと思います」と、恩師や保護者に温かく見守られる中、別れの言葉を述べました。



▲卒業生の歌が体育館に響きました



▲中西校長から卒業証書を受け取る生徒

個性豊かな人形ずらり 第2回 八幡さまのひなまつり



YouTube で動画が見れます!

2/23 [Sun] ~ 3/15 [Sun]



◀展示されたかわいらしい表情の「野菜ひな」



▲園児たちから「きれいだね」「かわいい!」と歓声が上がりました

八幡神社(東多久町)で、「第2回 八幡さまのひなまつり」(主催:八幡さまのひなまつり実行委員会)が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、初日以外に予定されていたイベントは中止となりましたが、親子連れや園児たちなど、多くの人が足を運びました。

会場には、多久市内外から寄付されたひな人形をはじめ、カボチャや白菜などでできた「野菜ひな」やかぐや姫をイメージした「竹ひな」などのひな人形も展示。

実行委員長の倉富治利さんは「大変好評でしたので、東多久町を盛り上げていくため、来年、再来年と今後も続けていきたい」と思いを話されました。